

目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V1.20の追加.....	1
V1.10の追加.....	1
V1.01の追加.....	1
メンテナンス項目.....	2
V1.20の修正.....	2
V1.10の修正.....	2
V1.01の修正.....	3
ファームウェアバージョンの確認.....	4
ファームウェアアップデート手順.....	4

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

新機能

V1.20の追加

- TASCAM HS Editorに対応しました。
- フラッシュスタート機能向けのフラッシュスタート画面を追加しました。

- “REMOTE SETUP” 画面 “General” タブ画面にRC-HS20PD ONLINE Key RECORD設定を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-2の追補「ファームウェアV1.20の新機能追加」を参照ください。

V1.10の追加

- ユニバーサルリモートコントロールユニット『RC-900』に対応しました。
- アナログ入出力のリファレンスレベルを微調整する “ANALOG Ref LVL ADJUST” タブ画面を “SYSTEM SETUP” 画面に追加しました。

メモ

詳しくは、HS-2の追補「ファームウェアV1.10の新機能追加」を参照ください。

V1.01の追加

- P2 ControlのVari Pitchコマンドに対応し、Video Editorからの同期コントロールが可能となりました。

- 下記TELNETコマンドに対応しました。

- MECHA STATUS SENSE
- CURRENT TRACK (TAKE) TIME SENSE
- IMPORT ADL

メンテナンス項目

V1.20の修正

- 動作の安定性を向上させました。

V1.10の修正

- プレイリストモードにおいて、“ADJUST”画面で“Start Point”を変更した後に再生すると再生エラーが発生することがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、同期エラーのマーク (UNLKxx) がWAVファイルに設定されない不具合を修正しました。
- 下記RS-232Cコマンドが動作しない不具合を修正しました。
 - Operation Mode
 - Media Remain Sense
 - Media Format
- “REC SETUP”画面“REC MODE”タブ画面の“REC MODE”設定が“Mirror”に設定された状態で下記設定を変更した際、変更前のこれらのiXMLデータが、カレントでないメディアのWAVファイルに記録される不具合を修正しました。
 - “SYNC T/C”画面“SETUP”タブ画面“Frame Type”設定
 - “REC SETUP”画面“FILE FORMAT”タブ画面“Bit Length”設定
 - “NEXT TAKE NAME”画面Take番号前のアルファベット
- 動作の安定性を向上させました。

V1.01の修正

- メディアが装着されていない状態でも、RC-HS20PDのフェーダーボリューム設定を有効とするようにしました。
- 下記設定をファイル保存から、機器本体保存に変更しました。
 - Input Monitor
 - Keyboard Type
 - Monitoring Position (“AUDIO I/O”画面の“OUTPUT”タブ画面の“PreFader/PostFader”設定)
- 外付けキーボードがCapsLock Onの状態だと、Functionキー操作が出来ない不具合を修正しました。
- データ読み込みエラーが発生した際、読み取った音声データを全て出力してからエラーメッセージを表示して停止するように修正しました。
- P2から返す時間データにタイムコードのドロップフレームフラグが反映されない不具合を修正しました。
- Pause ModeがNO SPLIT設定の際、Rec Pause状態にしてから録音を再開すると、録音可能時間分録音できない不具合を修正しました。
- “Playlist Adjust”画面でマークを設定した際、設定されたマークのアイコンが表示されない不具合を修正しました。
- テイクコピーの際、コピー先に空き容量があるのにコピーできなかったり、同名ファイルが無いのに同名ファイルがあると誤判定してコピーできない不具合を修正しました。
- プレイリストに登録されている再生範囲が実ファイルより大きい場合は、再生範囲を実ファイルに合わせるように修正しました。
- 本機以外で作られたファイルへのマーク設定が正常に行われない場合がある不具合を修正しました。
- AES31ファイルをインポートした後、画面表示と出力されるタイムコードでフレームタイプが異なる不具合を修正しました。
- “SYNC T/C”画面の“SETUP”タブ画面の“Frame Type”項目を変更しても、プロジェクト画面でプロジェクトの情報ポップアップメッセージに表示される“Frame Type”が変更された値にならないことがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードで“Pause Mode”が“SPLIT”設定の際、RecPause後に録音を再開する位置を、録音停止後に録音再開した場合と同じ位置に修正しました。
- JAM SYNCが同期しないことがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードでChase再生中にChaseをOFFした際、タイムライン先頭から再生を再開していたのをChaseOFFした位置から再生するよう修正しました。
- テイクモードにおいて、RecPause後にRec再開するとオートマークが設定されない不具合を修正しました。
- 時間表示モードがT/Cのとき、タイムラインモード以外で24hを跨いだロケートをするように修正しました。
- 2GB以上のファイルは2GB以上の部分が再生できないため、テイクとして認識しないように修正しました。
- いくつかのUSBキーボードにおいて、“j”の文字が入力できない不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、最終エントリーの終了間隙で別のエントリーをフラッシュ再生すると、フラッシュ再生したエントリーがすぐに終了して、次のエントリーが再生されてしまう不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、マークを最大数の99個設定後、これらのマークを削除した後に設定されるマーク名の番号が全て99になってしまう不具合を修正しました。
- “Playlist Adjust”画面の“CURRENT”ボタンで現在時刻が取り込めないことがある不具合を修正しました。
- AES31ファイルのインポートでエラーが発生した際にエラー報告されないことがある不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、PAUSE状態でマークを設定してから“Adjust”画面に切り換えると、このマーク情報が消えてしまう不具合を修正しました。
- “Audio Over”のマークがオーディオレベルを超えた本来の時刻とは異なる位置に設定されてしまうことがある不具合を修正しました。
- セッション情報のポップアップメッセージに表示される“TOTAL SIZE”、“TOTAL TIME”の値が、実際よりも小さく表示されることがある不具合を修正しました。
- “BROWSE”画面でUSBメモリーのフォルダー削除直後に“TOP”ボタンを押すとフロントパネル操作が出来なくなることがある不具合を修正しました。
- “REC SETUP”画面の“REC MODE”タブ画面の“REC MODE”項目の設定を“Mirror”にして録音すると、iXMLの<TAKE>フィールドの値が本来の値よりも1つ大きな値でWAVファイルに記録される不具合を修正しました。
- ロックされたSDカードがカレントメディアのときにテイクをエクスポートすると、エクスポートが完了しない不具合を修正しました。
- “REMOTE SETUP”画面の“ETHERNET”タブ画面の“LINK SPEED”項目の設定がバックアップされず、起動すると常に“Auto”になっていた不具合を修正しました。
- カレントメディアに選択されていないスロットにプロジェクトのないメディアを装着した際、セッションやテイクのエクスポートが実施できなかった不具合を修正しました。
- カレントプロジェクトにセッションが存在しないメディアを装着して起動した際、プロジェクト設定がロードされない不具合を修正しました。
- AES31ファイル/PPLファイルを“SAVE AS”で既存ファイルへの上書き保存を実施した際、指定された名前のファイルではなく、現在ロードされているAES31ファイル/PPLファイルに保存していた不具合を修正しました。
- “SYSTEM SETUP”画面の“Backup/Startup”タブ画面の“Load Preset”項目の“User”ボタンでUser Presetデータをロードした際、“AUDIO I/O”画面の“INPUT”タブ画面の“INPUT SOURCE”項目の設定がUser Presetデータに切り換わらなかった不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのHS-2のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

3. “VERSION INFO” ボタンを押します。
ここで表示される“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）を確認してください。ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

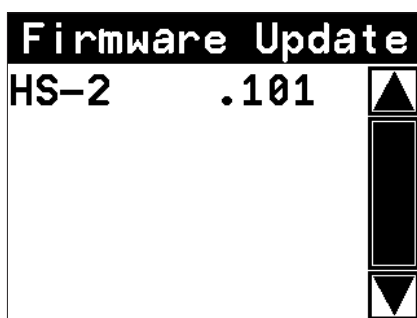
ファームウェアアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファームウェアをパソコンでSDカードまたはCFカードのルートフォルダーにコピーし、アップデート用カードを作成します。
3. コピーが正常に終了したことを確認し、パソコンからカード（SD/CF）を正しい手順で取り出します。
4. 作成したアップデート用カードを本体フロントパネルのカードスロット（SD/CF）に挿入します。
5. ホーム画面のメディア残量ボタンを押して“MEDIA SELECT”画面を表示し、挿入したカードをカレントメディアに選択します。

注意

カードは、必ずカレントメディアに選択したスロットだけに入れてください。カレントメディアに選択されていないスロットでは、アップデートはできません。

6. 本体の電源を一旦切った後、PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら再度本体の電源を入れます。
本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。

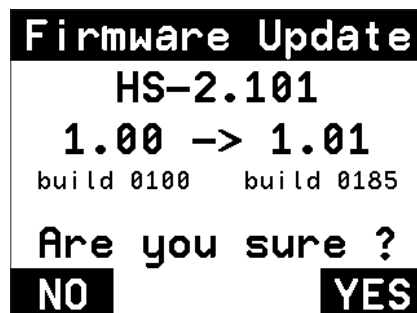


注意

上記の画面が表示されないときは、一旦電源を切り、PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら再度電源を入れてください。
PAUSEキーとRECキーは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。

メモ

- 上記の画面には、本機のカレントメディアのルートフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の2.でコピーされたファームウェアも表示されます。アップデート用のファイルが無い場合は、“No Update File”と表示されます。
 - 表示行はファームウェア最大5行です。表示最大行を超えるファイルがある場合には、画面右側のスクロールバーの“▲” / “▼”のボタンかDATAダイヤルでリストをスクロールさせてください。
7. アップデートしたいファームウェア名を押してください。
以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

8. “YES” ボタンを押すと、アップデートを開始します。

注意

アップデート中、電源を切らないでください。

9. アップデートが終了すると画面下に“Complete”、“PLEASE POWER OFF”と表示されます。
電源を切り、再度電源を入れてください。
10. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。
以上で本機のアップデート作業は終了です。